

タイトル	サービス利用見込み量の推計・コミュニティ等の充実
------	--------------------------

現状と課題

全国及び愛知県などに比べ、訪問系サービスの給付費が低く、通所系サービスの給付費が高い要因としては、コミュニティ不足や介護者支援不足の影響により、利用者の外出機会が減少し、介護者のレスパイトケアを目的とした「通所介護」「地域密着型通所介護」「短期入所生活介護」サービスの利用が高いためではないかと推測される。コミュニティや介護者支援策と通所系サービスの相関性が高いと仮定した場合、コミュニティの充実等により本町の問題が解消されるのではないかと考えられる。

また、同様に施設及び居住系サービスの給付額が比較的多く、調査結果においても、認定者の約3割の人が施設などへの入所・入居を「検討している」又は「すでに入所入居申し込みをしている」状況であることを踏まえ、供給量を踏まえた適切な施設整備が課題となる。

第7期における具体的な取組

- ・住民を主体としたサロン活動の推進
- ・ボランティア活動の推進を目的としたボランティアポイント制度の創設
- ・サービス提供体制確保を行えるよう、要因分析や適切な推計を行い、必要に応じて供給量を踏まえた施設整備等を行う。

目標（事業内容、指標等）

- ・ボランティアポイント制度の創設
- ・ニーズ調査等にて以下の項目に係る目標値達成

項目	分子	分母	実績値 (平成29年度)	目標値 (平成32年度)
介護・介助が必要な未認定者率	誰かの介護・介助が必要な人	対象者全員	15.9%	13%未満
15分以上歩くことができない率	15分以上歩くことができない人	対象者全員	21%	21%未満
一人で外出していない人	1人で外出していない人	対象者全員	7%	5%未満
介護・介助が必要で1人で外出していない人	1人で外出していない人	介護・介助が必要な方	50%	25%未満
転倒率			29%	25%未満
転倒歴があり、かつ外出回数が減っている率	転倒歴があり、かつ外出回数が減っている人	対象者全員	13%	10%未満
転倒不安があり、かつ外出回数が減っている率	転倒不安があり、かつ外出回数が減っている人	対象者全員	21%	20%未満
15分以上歩行可能なのに外出が週1回未満の率	15分以上歩行可能なのに外出が週1回未満の人	15分以上歩行可能な人	2%	2%未満
社会活動なし	ボランティア、スポーツ関係のグループやクラブ、趣味関係のグループ、学習・教育サークル、老人クラブ、町内会、自治会、収入のある仕事のいずれに	対象者全員	50%	25%未満

目標の評価方法

- 時点
 - 中間見直しあり
 - 実績評価のみ
- 評価の方法
 - ・ ボランティアポイント制度は創設できたか。
 - ・ ニーズ調査等にて目標値に向け推移しているか。
 - ・ 毎年度のサービス見込量の進捗管理を通して、計画値等との乖離はないか。乖離がある場合、地域支援事業等施策の影響はあるか。